

Title	2016年度『ベスト・プレゼンテーション賞』選考結果
Sub Title	Best presentation award
Author	
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2016
Jtitle	Library and information science No.76 (2016. ) ,p.62- 62
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000076-0062">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000076-0062</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2016 年度『ベスト・プレゼンテーション賞』 選考結果

ベスト・プレゼンテーション賞は、研究大会における口頭発表の中から、優れた発表者を選び表彰するものです。

発表者は、口頭発表では、決められた時間の中で、研究の内容を正確に伝え、また、聞き手にわかりやすいよう細部まで行き届いた配慮をし、説明する必要があります。こうしたプレゼンテーションに対する意識を高めること、さらにその技能の向上を目指してこの賞を設けました。

2016 年度の対象者は学生としての所属を明示した登壇発表者（大学院生など）とし、研究内容とプレゼンテーション技法の両方の評価に基づく投票を行いました。（なお、2007 年度から 2011 年度までは発表者全員を対象とし、発表の内容ではなく、プレゼンテーション技法を評価の対象としました。）

この賞の受賞者は、研究大会の参加者の投票によって選ばれます。今回は 39 票の投票があり、以下の発表が最多の 26 票を獲得しました。

2016 年度ベスト・プレゼンテーション賞受賞者

松山 麻珠氏（筑波大学大学院）

発表題目：表示媒体とインタラクションの組合せが誤りを探す読みに与える影響

得票の主な理由は、スライドの色使いや図がよく工夫され分かりやすかった、質疑応答が的確だった、話し方が明瞭だった、などでした。受賞した発表スライドの PDF 版を学会ウェブサイトで公開しています。